

危険体感実践研修



平成31年6月25日（火）にサンメッセ香川で開催された、危険体感実施研修プログラムに参加し、安全作業の重要性を実践しながら、学ぶことができました。

研修内容

体感研修

- ・VR（バーチャルリアリティ）体感研修
- ・年齢体力自覚体感研修
- ・事前確認による事故回避体感研修
- ・フルハズ安全帯着用での転落体感研修
- ・AEDを用いた救命処置研修
- ・移動式クレーンによる過負荷体感研修

研修の様子



事前確認による事故回避体感研修



AEDを用いた救命処置研修①



AEDを用いた救命処置研修②



年齢体力自覚体験研修①



年齢体力自覚体感研修②



年齢体力自覚体感研修③



移動式クレーンによる過負荷体感研修



VR（バーチャルリアリティ）体感研修①



VR（バーチャルリアリティ）体感研修②

・ 参加者感想

参加者感想文の一部を紹介します。



田中達也

この危険体感研修を受ける事により日々の作業の中で危険に対する意識が変わったと思います。まず安全帯を掛ける事がやはりどこか面倒くさいと思うことがあったと思いますが高所から転落すると重大な事故になるのでその大事さが分かりました。さらにフルハーネス安全帯がより自分の身体を助けてくれるということもよくわかりました。体力というのはやはり落ちていくものなので、そのことを自覚しておくことで事故を減らしていく事に繋がると思いました。

さらにVRでは高所からの転落や高所から物が落下した時の衝撃、ユニックの過負荷時の時の恐怖、AEDを用いた人命救助等普段では感じる事の出来ない体験をすることが出来ました。

日々の作業の中では、高所で難しい体勢での作業だけでなく、単純な作業もあると思いますが、どのような作業であっても常に危険が伴っていることを理解し注意しながら作業していきたいです。



岩田杏里香

危険体感実践研修を受けて仕事中に起こる危険について再認識できました。研修では、VRで危険体験をしました、映像は本当に作業をしているようでした。内容は実際でも起こりうることだったので、確認を怠ったり、気を抜いて仕事をしていたら本当に死亡事故にも繋がりがねないと思いました。

AEDの救命処置を体験してみて、いつだれが倒れるかわからないので、今回した体験は忘れず、誰も倒れないのが一番ですが、もしもの場合の為に覚えておきたいと思います。死亡事故などの話を聞いて私は常に危険と隣合わせでいると再認識できました。これから暑くなり、気が抜けてしまうことも少しあると思うので、夜は早めに寝て、ご飯もきちんと食べ、規則正しい生活を心がけて元気に仕事をしていきたいです。



馬場園雄大

- ・光ファイバーの線を初めて見る事が出来ました、あまりに細くて驚きました。この線のおかげで便利に生活していると思うとすごい事だなと改めて実感することが出来ました。
- ・VR体感では、落下の衝撃をリアルに体験させていただき、実際にはあってはならないと再認識することが出来ました。
- ・身体能力の測定でもっと動けると思っていたのですが、運動不足なんだということもわかり、動かないといけないなと思いました。